

Q 町の危機管理と実行を



&

A 国、県の関係機関に要望

たか はし まさ き
高 橋 政 喜 (文責)

質問

湯沢町は災害の少ない、危機管理を怠っていない

土砂災害
ハザードマップについて

答弁

内部に照明がないため、手持ちのライト等を持って入る。しかし、足元が見えづらく危険のため、トンネル内にライトを設置するために補正予算を計上し、可決後速やかに施工。

質問

排水口に入る。暗くて回りが見えない、電気の配線等町の考えを伺う。



排水トンネル

質問

下熊野地内の江沢川の治山ダムのドローンによる点検はできないか、この

答弁

湯ノ沢川は土砂災害警戒区域に指定されている。土砂の崩落により住民等の生命また身体に危害がないよう、町でも現地の確認を行い必要に応じて関係機関に対する要望を行う。ドローンの件は、できる時期を検討する。

質問

江沢川、中間沢川に土砂が出ると駅下に流れ込み、湯沢駅は大変なことになるが。

答弁

町としても治水・砂防に要望また実行に取り組む。

質問

現場は数十年前に県による作業を一度行う。しかし近年、大水が出ると土色が多くなったように感じる。点検の必要があるのではないかと。しかし、ドローンの点検はできず。

答弁

県の判断は経過観測の判定、町も現地の確認を行い、関係機関に対策の要望を行う。

答弁

案内看板または整備はどこでおこなわれているのか伺う。案内看板は環境農林課と一部湯沢高原が設置。

質問

八木沢・栄太郎峠又高原周辺の一楠場道の整備と案内看板について伺う。

湯沢高原周辺
トレッキング
コースについて



案内看板

答弁

経費もかかるが、担当と協議したいと思う。

質問

一楠場コースは、辞められたらどうか。

今回一楠場コースで2回道の間違いがあった。今後、春先の整備・草刈りを行い発生しないよう対策を行う。